

赤れんが通信



北海道庁の金昭賢(キム・ソヒョン)国際交流員が、韓国の友好地域との交流事業及び北海道の情報などについて書いたレポートをご紹介します。

街で見かける色が鮮やかになる季節がやってきました。重い雪布団が消え、冬眠から目覚めた大通公園には、春の到来を喜ぶ蝶のように人々が三々五々集まり始めました。新緑の匂いとライラックの香りは春を歌い、花々は風にそよんでいます。青々とした芝生で元気よく遊んでいる子どもたちと彼らをやさしく見守る雲、空色を映した噴水まで、すべてが生き生きと動いている風景を見るたびに解放感あふれる季節が戻ってきたことを実感しています。

桜のリレー

韓国には「桜年金」という言葉があります。(春を代表する曲の作者が毎年収益を得ること。韓国では「バスカー・バスカー」の『桜エンディング』が代表的)

日本にも春の定番ソングがあるように、ピンク色の桜が多くの人をとときめかせるのは両国共通ではないかと思われます。

日本では、2月1日以降の最高気温の累計が「600℃」を超える日に桜が開花すると言われており、九州から徐々に北上した桜前線は、ようやく4月末に北海道に辿り着きます。これで、北海道でも本州に近い道南地方(松前、函館などが位置する地域)から長い冬の終止符を打つことになります。



▲ 日本気象協会が今年2月に発表した2022桜開花予想図。東京と札幌の開花時期には約1か月の差があります。



▲ 函館の桜名所として名高い「五稜郭公園」の桜(ソメイヨシノ)

今春は気温が急に上がり、開花が平年より8日も早かったため、札幌の大通公園はゴールデンウィークが始まる前からピンクに染まりました。

開花した桜が満開になるまで平均5日かかるそうですが、面白いことに、その期間にも地域差が大きく現れるということです。寒い地方ほど満開までの日数も短くなりますが、2012年、旭川では開花した桜がわずか「5時間半」で満開になったという気象庁の観測記録もあります。

ライラックの花咲く頃

「ライラック」は、札幌市を象徴する木として指定されています。ライラックの見頃がピークに達する5月中旬、大通公園では3年ぶりに「さっぽろライラックまつり」が開催されました。久しぶりに開催されたイベントでは、多くの市民が屋外で楽しい時間を過ごす姿が見られました。

余談ではありますが、ライラックの香りを嗅ぐと小学生の頃を思い出します。その当時の小学生の必需品だった「クムドリクレパス」の匂いと似ているからですが、クムドリが活躍した大田(テジョン)広域市は、札幌市の姉妹都市でもあります。



1993年大田エキスポのマスコット「クムドリ」▶



ポロクルでクールな市内観光

韓国にも地域ごとに公共自転車の無人貸出しサービスがありますが、札幌でも春を迎え、赤い自転車に乗って街を走る人々がたくさん見られます。

札幌では「ポロクル」というシェアサイクルがあり(4~11月)、誰もが利用できます。今回は、国際交流員たちもポロクルを利用して取材を行いました。

自転車は、市内数十か所に設置されている専用ポートからレンタルできます。料金プランはいくつかありますが、今回、取材で利用した1日パスは、スマートフォン決済のほか観光案内所やホテルでも購入できます。また、スマートフォン専用アプリを利用すれば、各ポートにある自転車の空き状況や、自転車のバッテリー残量も確認することができます。

ポロクルは電動アシスト付き自転車なので、ペダルを軽く踏むだけで走行ができました。そして、公共交通機関ではアクセスが良くない場所の場合、自転車の方が移動時間が短く、乗換するために階段を昇り降りする必要もないので、かえって便利だと思いました。



この日は市内のあちこちを回り、約2.2kmを走りました。札幌市内は道路が比較的平坦です。また、交通量や歩行者もソウルより少なく、所々に自転車専用レーンがあるので、特に不便を感じることはありませんでした。



私はこれからも時々ポロクルを利用するつもりです。皆さんも札幌にお越しになった時、ぜひポロクルで市内を探検してみてください。

▲ 豊平川サイクリングロード。実家の近くから汝矣島漢江(ヨイドハンガン)公園までのランニングコースと景色が似ていて、まるで地元に戻っているような気がしました。



慶尚南道 DAY 実施



北海道と慶尚南道は2006年6月7日、友好交流協定を締結しました。この日を記念し、6月8日から2日間、北海道庁1階にて「慶尚南道 DAY」を開催しました。

今年のイベントでは、慶尚南道パネル展をはじめ、慶尚南道東京事務所による観光PR、観光パンフレットの配布、ハンボク(伝統衣装)の試着体験なども行いました。また、6月9日の昼には金昭賢(キム・ソヒョン)国際交流員が慶尚南道紹介セミナーを通じて友好地域の概要や名所、郷土料理など、地域の魅力を伝えました。



✓ 赤れんが通信
バックナンバーは
こちら



✓ 北海道庁
国際課
FACEBOOK



✓ 編集者・発行先 総合政策部 国際局 国際課
北海道札幌市中央区北3条西6丁目
TEL : +81-11-231-4111 FAX : +81-11-232-4303